



・江戸時代の鉄砲試射場の碑：工事現場から発見された石碑。鉄砲師範 小濱民部丞 嘉隆の遺徳を称え、砲術家川名金衛門忠重が寛文4年（1664年）に建立。



・鉄砲鍛冶屋敷（町家歴史館 井上関右衛門家住宅）：江戸時代に大名家とも取引があった鉄砲鍛冶の屋敷。実際の鉄砲製造工程の展示や歴史資料の閲覧が可能。堺火縄銃保存会によるワークショップも開催。



堺観光コンベンション協会



・堺鉄砲の碑：2000年、ザビエル公園内に設置。ザビエル公園は豪商・日比屋了珪屋敷跡で、彼はキリスト教徒となり屋敷を教会として提供。このイエズス会教会跡に堺火縄銃保存会の記念碑が建てられている。

・さかい利品の杜：茶の湯は政治的・経済的な交流の場。千利休の持つ商人のネットワークを使い、硝石や鉄砲などの貴重な軍需物資を確保していた。

・今井宗久屋敷跡（石碑）：火薬の原料（硝石）を独占し、鉄砲の生産に乗り出す。信長から堺五箇庄の代官に任命される。茶人としても千利休、津田宗及とともに天下の三宗匠と称され、茶室で鉄砲や火薬などの商談を行った。

